



町田二小だより

2024年5月1日

町田市立町田第二小学校

校長 卜部 敦彦

NO.2

協働的な学び

校長 卜部 敦彦

ヒトは他の生き物に比べ、特別に優れているわけではありません。例えば、陸上競技100m走の世界記録は、2009年の世界選手権でジャマイカのウサイン・ボルト選手が出した9.58秒ですが、これを時速に直すと37.58km(最高速度は44.6km)です。また、水泳競技の100m自由形の世界記録(短水路)は、2021年に競泳ワールドカップでオーストラリアのカイル・チャルマース選手が記録した44.84秒になります。これも時速に直すとおよそ8kmです。ところが、ほ乳類に限っての走力と泳力を比べてみると陸上のはほ乳類で最速のチーターは時速113km、泳力では、シャチが時速65kmとなります。

このように、ヒトの個々の身体能力は、動物のもつ身体能力には遠く及びません。速く走ることも泳ぐこともできず、木々の間を素早く移動することもできないヒトは、その昔には多くの動物の補食の対象であったことが想像されます。しかし、ヒトはこの地球上で他の動物を圧倒する繁栄をしています。それはなぜか、「文化がヒトを進化させたー人類の繁栄と〈文化-遺伝子革命〉」によると、ヒトは個体が特に能力に秀でていたわけではないが、集団の中で蓄積してきた知恵や技術をシェアする集団脳として賢くなったということです。集団の人口が多く平均寿命が長く、コミュニケーションがあるほどに集団脳は賢くなるということです。そして、この集団脳を最も活用できたのがヒト(ホモ・サピエンス)だったということです。ヒト(ホモ・サピエンス)が進化する過程には、同じ頃に存在したネアンデルタール人もいました。ネアンデルタール人もヒト(ホモ・サピエンス)と同様に、道具を使い、集団で生活をしていました。脳の容量も両者に違いはないそうですが、ヒト(ホモ・サピエンス)の方が、用途に合わせて道具を使い分けていたことが分かっています。一方のネアンデルタール人の道具は、年代を経てもほとんど変化がないことが分かっています。そして、ネアンデルタール人は4万年ほど前には姿を消してしまいます。両者の違いは、集団の母数だということです。ネアンデルタール人が、家族単位の小集団で生活していたのに対して、ヒト(ホモ・サピエンス)は、血縁を超えて150人以上の大集団で生活していたと見られています。この集団の規模の違いが、道具の違いを生み、繁栄の違いに結び付いたと言うことです。集団が大きいとその中である一定の割合で集団の中の道具や技術に新しいアイデアを思い付く「人」が現れ、新たな道具や技術が伝承されます。ところが、集団の規模が小さいと道具や技術に詳しい「人」がいなくなり、技術の革新は起きず、今まで使っていた道具をそのまま使うということになるそうです。集団の規模が大きいと革新的な技術についての情報のやりとりがより活発になり、新たな技術を思い付く人が増加し、さらに技術が高度になっていきます。この、情報の確実な伝達と新たなアイデアの発生数の違いがネアンデルタール人とヒト(ホモ・サピエンス)の決定的な違いになったのです。この集団の規模の違いによって生み出されたアイデアや技術、つまり知恵が情報の伝達の方法や仕組みと相まって文化となり、この文化がヒト(ホモ・サピエンス)を発展させてきました。

私たち一人一人は、思い付くアイデアにも限りがあり、何かを革新することも難しいですが、多くの人と関わることで、知識や技能を伝え合い、よりよい考えを生み出し、よりよく生きていける知恵を身に付けていけるのではないかと思います。

学校のよさは集団の中で、一人一人が違ったよさを発揮し合えることにあると考えます。子どもたち一人一人がそれぞれのよさを発揮して、学級として、学年として、学校としてよりよく成長できるよう支援してまいります。

※参考・引用『「文化がヒトを進化させたー人類の繁栄と〈文化-遺伝子革命〉」 ジョセフ・ヘンリック (著)、今西康子 (翻訳)』

5月の主な予定 ～5月の生活目標～ 【きまりを守り なかよくしよう】

1	水	体育朝会 内科(1.2)	15	水	体育朝会 避難訓練
2	木	《B》5h授業(全) 歩行訓練(1) 自転車教室(3) 地域訪問 個人面談(若) 視力(4)	16	木	なかよし班遊び
3	金	憲法記念日	18	土	道徳授業地区公開講座 午前授業 4h 授業(全)
4	土	みどりの日	20	月	振替休業日
5	日	こどもの日	21	火	社会科見学(6)
6	月	振替休日	22	水	音楽朝会
7	火	《B》5h授業(全) 地域訪問 個人面談(若) 視力(5)	23	木	体力テスト
8	水	午前授業 町二集会 安全指導 視力(6.若.欠)	24	金	市庁舎見学(3)
9	木	《B》5h授業(全) 地域訪問 個人面談(若)	27	月	全校朝会 水泳指導始 委員会(6月分) 放課後英語教室
10	金	《B》5h授業(全) 地域訪問 個人面談(若) 心臓検診(1.他)	28	火	経年変化分析調査(6) 校外学習(1.2)
13	月	EYE♡TIME クラブ 放課後英語教室 教育実習始(3年1組)	29	水	EYE♡TIME
14	火	《B》	31	金	校外学習(若) 教育実習終

お別れの あいさつ



1年間だけでしたが、大変お世話になりました。町二小の子どもたちも先生たちも大好きでしたが、わがままを言って中学校の数学の教員に戻りました。現在は、市内の中学校で1年生の副担任をしています。私にとって最後の小学校、校長でした。とても楽しい1年間でした。ありがとうございました。

この度、調布市立調和小に異動することになりました。町二小では、8年間(町四小からの巡回指導2年間を含む)指導させて頂きました。子どもたちの笑顔と成長、活躍を近くで見られたことで続けることができました。どうもありがとうございました。

今までありがとうございました。町二小で過ごした4年間は、先生にとって宝物です。元気いっぱい温かい町二小のみなさんが大好きです!4年間、お世話になりました。

笑顔いっぱいの、子どもたちのあいさつの声が響く町二小での3年間は、とても楽しかったです。温かい、すてきな学校の一員になれて幸せでした。ありがとうございました。

変わらずに元気に過ごしていますか?給食はしっかりと食べていますか?町二小で過ごした6年間の思い出は、私の一生の宝物です。離れていても、町二小の皆さんをいつまでも応援しています!

1年間、ありがとうございました。私が担当した学校の中で、町二小の児童の皆さんは、よくあいさつをしてくださいました。他校と比べても、一番のあいさつをしてくれる学校だと思います。

2年間という短い期間でしたが、どうもありがとうございました。

町二小の皆さん1年間ありがとうございました。この仕事で必要なことを皆さんから学びました。安全を第一に、子どもたちと思いきり遊び、話し、一緒に過ごせた素晴らしい時間を忘れません。これからも応援しています。



今まで
ありがとう
ございました!